



 そうふうPartⅢ 爽風 発行者:校長 下地美和子	学校教育目標 創造性にあふれ 心豊かでたくましく 生きる児童の育成
	目指す児童像 ・自ら学び考える子・思いやりのある子・健康でねばり強い子 ・当たり前のことを一生懸命にやる子(凡事徹底)
★しんけんにもちあじいかしてじぶんから 明るい心 未来へつながる 下地小	

体育コーディネーター配置校 ～公開授業・実践報告会 3年生

1月27日に、3年生の体育の公開授業がありました。これは、沖縄県教育委員会 小学校体育科指導コーディネーター配置校の下地小学校が公開授業と実践報告会を行ったものです。

県教育委員会の玉城健指導主事や、宮古地区の小中学校の体育の先生方、こども園の先生方、本校の先生方が集まる中、3年生が「セストボール」の授業を行いました。

「セストボール」とは、かごのようなゴールにボールを投げ入れる、バスケットボールに似た360度どこからでもシュートが出来るゴール型ゲームです。ドリブル禁止でパス主体、人体接触をさけるルールにより、子どもでも安全に協力して楽しめるゲームです。



子ども達は、基本的なパスの仕方やシュートの仕方を練習し、友達と作戦を立てて試合に臨みました。中には、作戦が功を奏しシュートが決まった子ども達も。ルールやより良く動く方法も話し合い、みんなで協力してゲームを進め、生き生きと活動やゲームに取り組んでいました。

授業が終わった後は、実践報告会が行われました。コーディネーターの宮国智士先生の報告に続き、玉城主事の県の事業説明等を行い、日頃の体育の授業力向上について話し合いました。宮古地区の体育に関係する先生方が集まって研修を深めてくださいました。関わってくださった先生方、ありがとうございました。



川満の棒踊りについて ～地域の伝統文化学ぶ 3年生

1月29日の総合的な学習の時間に、川満棒踊り保存会会長の伊志嶺篤浩さんが棒踊りについて、3年生にお話をしてくださいました。



最初に、棒踊りの由来、次に、実際に踊っている映像の視聴、その後、実際に踊りで使う楽器～棒・かね・ドラを見せながら、使い方や持ち方、踊り方を教えてくださいました。

衣装の4色の意味としては（諸説ありますが）白は神様への清め、赤は悪い物を寄せ付けない。黄色はおいしく実った稲穂、五国豊穰を祈る色、紫は気品の高い色で、かっこ良さや伝統を表す。みんながこの伝統を引き継いでいく印の色です。そして踊るときは、大きなパワーを込めて踊っています、と話されました。

質問コーナーでは、会員は22名、340年前から始まったことも説明してくれました。また「伊志嶺さんにとって『棒踊り』って何ですか？」と聞くと「宝物、誇りです。生まれ育ったもの、無くしてはならないもの、下地のアイデンティティです。」と話してくださいました。伊志嶺さん、下地の伝統文化の「棒踊り」について詳しくお話をしてください、ありがとうございました。

